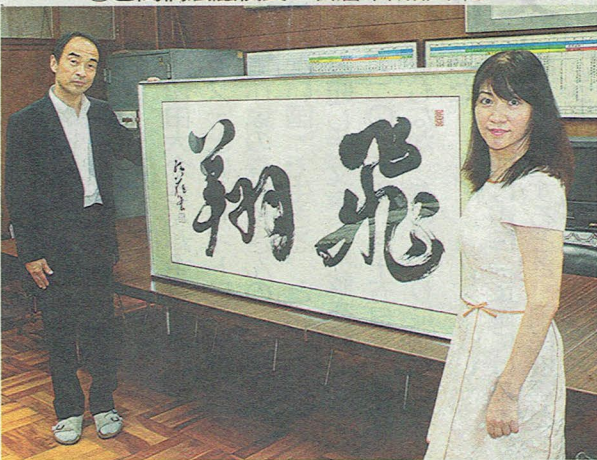


「飛翔」の書を寄贈した岩月絵里さん
と高橋宏滋校長＝岩倉市南部中で

校訓「飛翔」の書を寄贈

南部中 1期生の書家・岩月さん



岩倉市南部中の校訓「飛翔」の文字を同校の1期生で書家の岩月

絵里さん(五三)＝横浜市

Ⅱが書にしたためて、

十七日に学校に寄贈し

た。校歌の題名にもな

っている伝統の校訓

は、岩月さん自らが在

学中に考えたものだ。

南部中は一九七七

(昭和五十二)年四

月、生徒数が増えた岩

倉中から分離する形で

開校。当時三年だった

岩月さんら二百十人が一期生となった。

校訓は一期生が卒業

前に案を持ち寄り、岩

月さんの案が選ばれ

た。玄関前にある校訓

を刻んだ石碑は卒業式

に除幕されたという。

現在は神奈川県を中

心に「粟津紅花」の雅

号で活動している岩月

さん。今月十五日に一

期生が名古屋市内で同

窓会を開くことに合わ

せ、書の寄贈を決めた。

「飛翔」の二字は全紙に

行書で力強く書いた。

「学校から飛び立つ

て、それぞれの場所で

成長する様子をイメー

ジした」と当時を振り「でも南部中と言えば橋宏滋校長(五三)も笑飾るか、今後検討す返る岩月さんに、「今『飛翔』ですよ」と高顔。書を校内のどこに」という。(井上峻輔)